

第 149 回 通常宗議会速報

令和 8 年度 曹洞宗一般会計歳入歳出予算決定

級階賦課金 1 点 1 4 5 円 (令和 7 年度より 1 円減額)

○令和 8 年度 曹洞宗一般会計歳入歳出予算

歳 入 5 1 億 1 0 7 7 万 7 千円

歳 出 5 1 億 1 0 7 7 万 7 千円

(※ 歳入歳出ともに前年度より 10 億 1 5 1 8 万 6 千円の減額)

(内 訳) 5 0 億 4 6 7 7 万 7 千円 歳出經常部総額

(※前年度より 8 億 9 9 1 8 万 6 千円の減額)

6 4 0 0 万円 歳出臨時部総額

(※前年度より 1 億 1 千 6 百万円の減額)

議会概要

令和 8 年 2 月 16 日、第 149 回通常宗議会が招集され、会期 5 日間にわたり主に令和 8 年度予算についての審議が行われた。招集初日、石附周行猯下管長就任式、宗議会成立に関する集会、開会式、常任委員指名、服部秀世宗務総長による施政方針演説が行われた。

内容は ①曹洞宗所有不動産再開発推進委員会 ②建て替えに伴う宗務庁の仮移転候補地 ③災害見舞金制度 ④災害対応 ⑤本年度実施の各種総選挙 ⑥僧堂関係 ⑦布教教化に関する告諭、並びに布教教化方針 ⑧青少年書道展 ⑨教化資料 ⑩出版部関連 ⑪伝道部関連 ⑫人事部関連 ⑬人権擁護推進本部関連 それぞれについての演説であった。

その後、提出議案 14 本、承認を求める件 2 本が上程された。

継続審議となっていた「東京グランドホテル営業を終了する件」と「曹洞宗土地・建物再開発に係る契約及び入札の倫理審査に関する規程制定案」についての特別委員長の報告がなされた。東京グランドホテル営業を終了する件については、継続審査を望む報告がなされ、今次宗議会の特別委員会に付託された。さらに議員発議の上記規程制定案は「曹洞宗役職員倫理規程制定案」として採決された。

翌日より、各案件をそれぞれの常任委員会・特別委員会に付託、全ての議案が審議に入り、有道会・總和会を代表しての「総括質問」に続き「通告による一般質問」12 本、「文書質問」3 本が提出された。

その後、各委員会に付託された案件の審議が行われ、最終日に、それぞれの委員長から審議の報告を受け、令和 8 年度の曹洞宗一般会計歳入歳出予算案並びに補正予算、ソータービル建替えの件、東京グランドホテルの営業を終了する件、曹洞宗宗務庁仮移転候補地選定につき承認を求めるとについては可決、不動産開発に関する基本条件を求めるとについては否決された。

○一般会計歳入歳出予算額 5 1 億 1 0 7 7 万 7 千円

前年度当初予算と比較し、10 億 1 5 1 8 万 6 千円の減額となった。

これは、前年度に曹洞宗育英会規程の廃止に伴う資産受入れや、図書印刷物等刊行特別会計および檀信徒会館特別会計からの元入金繰入れといった一時的な収入増があったことの反動である。歳出においては、規程変更により災害対策特別会計への繰入金を減額した一方、近年の物価上昇や予算全体に対する割合を考慮し、予備費を増額計上した。

以上を踏まえ、物価高が続く厳しい状況を考慮して事業を再検討した結果、級階による賦課金は 1 点あたり 145 円に決定した。

○一般会計歳出臨時部予算額	6400万円（内訳）	
1 款-学校法人愛知学院創立 150 周年記念教育振興支援金		500万円
2 款-学校法人世田谷学園創立 125 周年記念教育振興支援金		500万円
3 款-国外における宗立専門僧堂開設準備費		100万円
4 款-全国宗務所長会結成 50 周年祝賀金支出		100万円
5 款-曹洞宗不動産再開発推進委員会費		5000万円
6 款-S D G s 推進事業費		200万円

宗務総長演説より(抜粋)

○曹洞宗所有不動産再開発推進委員会について

- ・(株)インデックスコンサルティングとの契約に関して、委託先代表者の委員就任については、本宗弁護士から開発主体とならないため利益相反がないとの見解である。
- ・再開発原資として約 58 億円が捻出可能だが、将来の宗門財政や不測の事態への備えを考慮し、自己資金の投入や借入金への依存は極力避けるべきとの判断をした。
- ・老朽化が著しい現状と、将来的な宗門の人口減少・収入減を見据え、港区の一等地である所有不動産を最大限有効活用する必要がある。
- ・委員会において PM からの提案・助言を基に検討の結果、内局として「定期借地権」を利用した開発手法が最良であると考えた。

○建て替えに伴う宗務庁の仮移転候補地について

- ・ソートビル建替に伴う仮移転先は、施設要件や港区近郊の賃料高騰（年約 4 億円）を考慮し、最適地である「鶴見大学会館」を候補と判断した。
- ・現在、学校法人と条件交渉中だが、今次宗議会にはまず候補地選定の件を上程し、ご承認を得て詳細な契約準備を進めたい。
- ・次期 6 月宗議会での正式決定を目指す。万一交渉等の条件が整わない場合は、移転先を再考する必要がある。

○災害援護拠出金について

- ・令和 8 年 4 月からの制度変更により、基本拠出金は全寺院一律 2,500 円に据え置く一方、付加拠出金は毎年見直すことになった。付加拠出金の単価は、次年度の損害保険料や建物共済加入数に応じて変動する仕組みとなる。

○僧堂関係について

- ・僧堂における不祥事発生時の初期対応マニュアルを顧問弁護士の監修のもと作成した。

○青少年書道展

- ・本年 60 回むかえ記念大会として文部科学省、(株)よみうりランドに後援を頂けることになった。表彰式も鶴見中学校・高校記念講堂において執り行う。

○梅花流創立 75 周年記念奉賛大会

- ・検討を重ねた結果令和 9 年 5 月 26 日の一日開催として、会場候補地を「東京ガーデンシアター」に決定した。

○人権擁護推進本部関係について

- ・本年度の新規事業としてポッドキャストの配信をする。タイトルは「わわわ」とした。タイトルの由来は人権と言う主題を巡る「話」が耳から入りそれが人々の「和」を醸成し、やがて大きな「輪」となると言う願いを込めている。

【詳しくは有道会ホームページ・曹洞宗報 5 月号をご参照ください】